

栃木県手をつなぐ育成会 発行：H30.7.24

今年の梅雨明けは6月下旬とかなり早まりました。7月上旬には西日本豪雨による大災害が発生し、多くの尊い命が犠牲となり、家屋等の倒壊など甚大な被害情報が報告されています。改めて自然災害の恐ろしさを実感しました。三年前の北関東豪雨を思い起こしますが、一日も早い復旧、復興を願うばかりです。犠牲となった方には心からのご冥福をお祈りし、被災された方には生きる意欲を早く取り戻していただきたいと思っております。

県育成会では災害義援金の募金協力をお願いしています。互助のお気持ちでのご支援方をお待ちします。

## 各地の活動から

### ◎ 障害者スポーツ選手等育成・強化事業

今年も県内12の地域で障害者スポーツを取り入れたスポーツ大会を開催しています。10の地域でフライングディスク、2つの地域でボーリング大会を行っています。今後とも、競技スポーツへの関心を強化し技術の向上、5年後の全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会に向けて選手の育成を宜しく願います。

会長は那須地区ふれあいスポーツ大会に、私は佐野市手をつなぐ育成会スポーツ大会と益子町・市貝町・茂木町三町合同スポーツ大会に出席しました。ディスクの扱いにも慣れて、得点を重ねていました。笑顔の表情と楽しく活動する姿。いいですね！！

【委託事業活動】

### ◎ 相談会・研修会開催事業

この事業を受託した栃木市では、7月2日(月)たつの市の啓発隊ぴーす&ピースの代表矢野一隆氏を招いて、知的障害者、発達障害者の理解啓発を意図して擬似体験研修が行われました。育成会会員以外に市役所職員、施設職員、相談支援専門員など50名が参加され彼らの障害特性やわかりやすい言葉のかけ方など多くことを気付き、心の中にインプットされたようです。この研修が初歩となってお子様や利用者が地域生活を快く過ごすためのステップになるとうれしいですね。

同様に、矢野様には7月1日(日)那須塩原市、7月3日(火)真岡市で同様の研修を行っていただき、啓発隊結成に向けての動きが芽生えてきたようです。矢野様お世話になりました。



【理解・啓発活動】

## 【平成30年度社会福祉に関する要望事項】 県社協 ＝栃木県関係＝

- ①障害者虐待防止の推進策の充実  
全ての法人、事業所に障害者虐待防止委員会の設置  
従事者への障害者虐待防止研修の受講
- ②グループホーム設置促進のための補助金の増額  
設置のための補助金の増額
- ③地域生活支援拠点の更なる推進  
設置に向けた市町への具体的支援  
県単による地域生活支援拠点体制整備事業の拡大

## ＝宇都宮市関係(中核市)＝

- ①法人後見事業の拡充  
法人後見センター増強の支援  
制度利用促進のための財政支援
- ※各要望は8月下旬から9月上旬に要望書提出及び説明が行われる予定です。  
※各地区からの要望はありませんでしたが、「権利擁護」の一環として今後も堅持して参ります。

## 【全育連主管の要望事項の協力】

＝「成年被後見人等の権利の制限に係る適正化を図るための関係法律の整備に関する法律案」の早期法律制定を求める要望活動＝

長い題名ですが、要するに被後見人等に対する欠格条項を削除するため、関係法令の見直しを早期に実現していただくための要望ということです。

この要望書提出は全育連からの連絡を受け実施したものです。要望書等の提出にあたっては県役員が手分けし、7月中旬に県選出国会議員の県内事務所を訪問して要望書等を届けるとともに、その際に趣旨等を説明する形式で行いました。要望活動の成果を期待したいところです。

しおりのデザイン募集！！

県育成会では「しおり」を新たに作成するため、表紙のデザインを募集します。構図等は自由ですが、育成会活動を受け継ぎ、やさしさの中にも夢や希望のあるデザイン(図案)をお寄せください。

締め切り：平成30年10月5日(金)

応募：どなたでも可(ただし、表彰等はなし)

連絡先：県育成会 028-624-3789

～事務局から～

“対話”してますか？。互いのことを理解しあう一手法ですが、互いに向き合って本音を伝え合うこと、この連続が「対話」と障害者雇用情報誌「働く広場」にありました。この対話の継続が合理的配慮の理解や実施につながるということでしょう。